

東京地方壮年連合通信 vol.80

TOKYO SOHNEN RENGOH TSUUSHIN 2018年12月15日

「東京地方壮年連合」の生い立ち

市川八幡教会 鳥飼 好男（とりかい よしお）

今般、当『壮年連合通信』の編集子から、「東京地方壮年連合」の発足当時のことを投稿してほしいとのご依頼がありました。記憶の間違いがあつたらご容赦願うとして、思い出すままに報告したいと思います。本文中のお名前については、フルネームでなく姓だけにさせていただくことをご了解ください。

1. 前 史

「東京地方バプテスト教会連合」（以下、「東京地方連合」と略す）の創設時（1970年頃？）から、役員としての「壮年委員」が設置されています（他の地方連合では「壮年会長」）。その壮年委員の方に有志が協力するという形で、「東京地方連合の集い」や「全国壮年大会」等の活動に参加してきたのです。

例えば、1991年の「全国壮年大会」のときは、当時の壮年委員の民家氏（常盤台・その後、三沢教会牧師・召天者）に協力して、多くの壮年達が実行委員として活動しました。

「東京地方壮年連合」の具体的組織化については、1995年に当時の壮年委員であった鳥飼が、久場（恵泉）、滝川（大井）の両氏に相談を持ち掛け、検討を開始したのがきっかけです。これは1997年度の「全国壮年大会」を「東京地方壮年連合」が担当するに当たっての準備のためでした。

当初は、東・西・南・北の各ブロックから複数人の協力者を幹事として依頼するため、3人が“個人的”に折衝しました。ブロック幹事として承諾された方々と、「幹事会」と称して隔月に会合を持ち、特に「全国壮年大会」の計画と準備のために協議をいたしました。

この間の壮年委員は、鳥飼・高良（恵泉）・滝川・久場の諸氏です。

2. 発 展

協議を進めていくうちに、自然発生的に以下の「課題提起」がなされ、できることから実行することになりました。

(1)「全国壮年大会」を成功させるためには、まず東京地方連合内の各教会の壮年会等との協力関係を樹立することが肝要。そのためには、「東京地方壮年連合通信」を発行しようということになり、1995年に第1号の発刊を見たのです。幹事諸氏の協力により、各ブロック内の壮年会等の活動を紹介しました。現在は80号になっています。

(2) 「壮年による研修会」を呼びかけ、教会形成に資する「バプテスト主義」についての学びを開始しました。現在のところ、23回目の「研修会」を予定しています(2019.2.16)。

(3) 「東京地方連合」内の教会・伝道所に「協力伝道隊」を派遣しようということになり、千葉教会、経堂教会、篠崎教会、青梅あけぼの教会、他地区では郡山コスモス通り教会や平塚教会に出向きました。チラシ配り、柵作り、ペンキ塗り、証しの奉仕をしました。

(4) そして大井教会と調布教会で開かれた「東京地方連合の集い」の際に、壮年だけの集会を開催し現況報告と懇談会を行いました。

(5) 「幹事会」ではなく、正式な「東京地方壮年連合」として発足しようということになり、その準備に入りました。

3. 「東京地方壮年連合・設立総会準備委員会」の設置 (2010年3月27日)

「東京地方壮年連合」の組織化のためには、東京地方連合内の各教会・伝道所の壮年会等による「総会開催」が必須であり、そのための準備委員会を設置しました。

下記の方々が、この委員としてお働き下さいました(五十音順・当時の所属・敬称略)。青柳(大泉)・久場(恵泉)・佐藤(栗ヶ沢)・玉井(栗ヶ沢)・筒井(篠崎)・鳥飼(市川八幡)・野口(志村)・望月(青梅あけぼの)・山田(大井)・渡辺(恵泉)・渡部(常盤台)

(1) 「東京地方壮年連合・設立総会」開催のための準備を目的とする。

「目的・組織・規約」(案)の作成、「設立総会」の開催日・場所の検討と通知

(2) 任期は設置日より「設立総会」開催日までとし、開催終了後に解散する。

(3) 準備委員会の会議費(会場費)および委員の交通費実費、「設立総会」開催案内諸費用(印刷代、郵送費、返信はがき代)は、現幹事会予算から拠出する。

4. 「東京地方壮年連合・設立総会」(第1回総会 2010年11月23日)

(1) 東京地方連合内の各教会・伝道所の壮年会等が、積極的に教会形成を担い、協力伝道を喜びとし、伝道者養成を目指す群れとなるために、キリストによる一致協力が必要との主旨説明から「東京地方壮年連合」設立が承認され、第1回総会と位置付けました。

(2) 「規約」については、微細の表現について再検討し、第2回「総会」(2011年4月29日)にて承認を得てから制定することになりました。

以上が「東京地方壮年連合」の発足までの過程であります。

2018年11月23日に、第10回「定期総会」が関東プレインズ教会で開催され、何と41名の方々がお出席されました。役員を担って下さる方々がなかなか見つからない現状のようです。しかし、これまで会長としてお働き下さった山田(大井)・竹下(恵泉)両氏をはじめ、現役員の方々に感謝を申し上げます。

現在まで継続されていることは、只々、「主の憐れみと恵み」によるものと、主のみ名を賛美せずにはおられません。

「わたしの父は今もお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。」(ヨハネ5:17)と主は言われます。私たち壮年も、主と共に「働かせてほしい」と願っています。

東京地方壮年連合 2018 年度定期総会(第 10 回定期総会)

2018 年 11 月 23 日(木) /関東プレインズ教会/午前 11 時 00 分～12 時 10 分

出席教会：26 教会、委任教会：16 【39/55 成立】、

代議員出席者：40 名、陪席：1 名

議長：篠松次郎(常盤台)、副議長：関玖仁男(市川八幡)、書記：西本明(恵泉教会)、
栗本岳尚(市川大野)

【第 1 号議案】2017 年度活動報告、決算報告、及び 監査報告

活動報告：竹下 達也 (恵泉)

決算報告：青柳 博 (大泉)

監査報告：久場 俊男 (恵泉)

【一括承認】

【第 2 号議案】2018 年度活動説明、決算見込み報告

活動説明：竹下 達也 (恵泉)

- ・主 題：「 壮年の役割－バプテストの信徒として」
- ・主題聖句：「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、論し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。」コロサイの信徒への手紙 3・16 の継続

決算見込み報告：青柳 博 (大泉)

【一括承認】

【第 3 号議案】2019 年度の活動計画、予算案

活動計画：竹下 達也 (恵泉)

- ・主題と主題聖句は 2019 年度も継続。

予算案：青柳 博 (大泉)

【一括承認】 保留 1 名

【第 4 号議案】役員改選

会長 (代務者) 大久保教会牧師河野信一郎 任期 1 年：久場 俊男 (恵泉)

【承認】 保留 2 名

会長 (代務者) 河野信一郎 (大久保)

みんな (We) で東京地方連合を盛り上げてもらいたい。

神に従い神からの恵みを戴きましょう。

議長：篠松次郎(常盤台)

本日の議事進行への代議員の皆様のご協力に感謝申し上げます。今後とも、祈りを持ちながら諸課題を自分たちの問題として捉えて、東京地方壮年連合を支えていきましょう。

発行人：東京地方壮年連合会長 竹下達也

編集人：佐藤洋二

連絡先：千葉県柏市東中新宿4-7-5-104 〒277-0061

tel. 090-9834-9464 e-mail. qp4316_1107yahoo.co.jp

東京地方壮年連合主催

「第23回研修会」の御案内

主 題：「私たちは何故バプテストなのか」

発 題： 大西晴樹氏 元明治学院長・元明治学院大学長

現明治学院大学経済学部教授

恵泉バプテスト教会員

*NHK カルチャーラジオ歴史再発見の講師、著書多数

+バプテストを改めて学ぶきっかけにしたいと思います+

講演後は意見交換、質疑応答の時間を十分にとるようにしています。

と き： 2月16日（土）13時00分～15時30分（予定）

ところ： 新小岩バプテスト教会 葛飾区新小岩 4-11-10

（最寄り駅：JR総武線・新小岩駅南口より徒歩約5～10分 改札南口より、左手のマクドナルド目印に靴屋方向へ向かい、交差点をローソン側に渡る。左へ曲がりそのまま進んで左側です。

「小松中学校」の方向を聞いて下さい。

（参加費無料） 参加・出席はどなたも大歓迎です。

女性会、青年会、中高生もぜひご参加下さい。

*茶菓の用意はしておりませんので飲み物は各自ご用意下さい。

問い合わせ先：

青柳 博 090-2664-5305

佐藤洋二 090-9834-9464 まで

共催 東京地方連合